

# 競 技 上 の 注 意

1. 競技開始 第1日 9時00分 第2日 9時00分 第3日 9時00分 第4日 9時00分

## 2. 競技規則・方法

- (1) 本大会は、2023年度日本陸上競技連盟規則により行う。
- (2) 学校対校とする。得点は1位 8点・2位 7点・以下……8位 1点とする。

## 3. 選手招集について

- (1) 選手の招集所は、メインスタンド下通路北側に設置する。
- (2) 招集時刻は、【競技日程及び招集時間】に記載のとおりとする。
- (3) 招集の手順
  - ア) 競技者は、招集開始時刻から招集所で最終確認を受けたあと、競技者係の誘導に従うこと。その際、トラック競技の出場者は腰ナンバーカードを受け取り右腰やや後方につけること。
  - イ) 代理人による最終点呼は認めない。ただし、2種目同時に兼ねて出場する選手はあらかじめ、その旨を最初の種目の招集時に競技者係に申し出ること。
  - ウ) 招集時刻に遅れたものは、棄権するものとして処理する。
  - エ) リレーのオーダー用紙は、競技者係より受け取り、予選・決勝とも提出すること。  
(提出はその種目1組目の招集完了60分前までに行うこと)  
なお、招集時間内に必ず招集も受けること。  
リレーの選手変更は2023年度日本陸上競技連盟規則による。
  - オ) 混成競技は、第1日目・第2日目とも最初の種目を(2)に準じて招集を受けること。  
2番目以降の種目の招集はトラック20分前、フィールド30分前にトレーニング室で点呼確認を受けたあと、誘導に従う。  
最終点呼は現地で行う。

## 4. フィールド競技について

- (1) バーの上げ方については下記のとおりとする。ただし、天候等により変更することがある。

種 目	練習	1	2	3	4	5	6	7	
男・走高跳	$\frac{1.70}{1.50}$	1.55	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	1.85	以降3cmとする
女・走高跳	$\frac{1.40}{1.20}$	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.53	以降3cmとする
男・棒高跳	$\frac{3.50}{2.60}$	2.70	2.80	2.90	3.00	3.10	3.20	3.30	以降10cmとする
女・棒高跳	$\frac{2.60}{1.70}$	1.80	1.90	2.00	2.10	2.20	2.30	2.40	以降10cmとする

※練習は2段階の高さで実施する。

※順位決定のバーの上げ下げは走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。

- (2) 三段跳の踏切板については下記のとおりとする。ただし、天候等により変更することがある。

男子	11m	女子	8・9m
----	-----	----	------

## 5. その他

- (1) トラック種目における準決勝・決勝へのプラス進出者については、当該競技者の最下位に同記録が複数出た場合、写真判定により0.001秒単位の時間を判定して決定する。それでも決まらない場合は「同着」としてレーンに余裕がある場合には、次のラウンドに進出する。レーンに余裕がない場合は抽選とする。  
ただし、1500m以上の長距離種目での同記録(0.001秒単位)者は全員次のラウンドに進出できる。  
  
抽選対象者または代理人は本部に申し出る。  
抽選のアナウンス後10分経過しても抽選に来ない場合は、各県監督か専門委員長が代理で行う。抽選は本部の番組編成室で行う。
- (2) 棒高跳出場選手は、ポールを持参すること。
- (3) 用器具の検査時間は、各種目とも招集開始60分前より始めて30分前で締切る。
- (4) 本競技場での練習時間は、トラック・フィールドとも競技開始20分前までとする。
- (5) 各種目3位まで表彰する。
- (6) 本大会6位までの入賞者は北九州地区予選会(福岡)に出場する資格が与えられる。  
ただし、以下の競技については下記の通りとする。  
男子:八種競技 女子:棒高跳、三段跳、ハンマー投、七種競技については4位までの入賞者。  
男子:5000mW 女子5000mWについては5位までの入賞者。
- (6) 北九州大会出場権を獲得した学校は、各校責任のもと申込用紙を大会最終日までに大会本部へ提出すること。

写真撮影については、学校関係者のみとし、許可を受けること。  
高校生・保護者等の写真・動画の撮影は競技エリア(第2競技場・多目的練習場・招集所等)ではできません。  
許可された者のみ、撮影許可区域内での撮影ができるものとする。  
なお、報道関係者については、報道係で受付を行い、撮影許可を得ること。